

警備業務細目

1 業務内容

(1) 機械警備機器の設置及び撤去

ア 乙は、機械警備業務を行うに当たり機械警備機器を設置、交換、修繕する場合は、事前に甲の承諾を受けること。また、甲と事前に調整した上で、甲の監督の下に実施すること。

イ 機械警備業務及び施設警備業務開始日は次のとおりとする。

(ア) 機械警備業務 令和7年4月1日警備開始

(イ) 施設警備業務 令和7年4月1日警備開始

ウ 乙は、アを実施するに当たり、委託期間中、機械警備業務を実施できない期間がある場合は、それに代わる人的警備業務等を実施する。

エ 乙は、契約期間の終了、契約の解除又は契約の変更等により乙所有の機械警備機器を撤去する必要がある場合は、甲の指定する期日までに甲の承諾、監督の下に撤去すること。また、機械警備機器の設置個所について、設置したことが原因で修繕を要すると甲が認めた場合は、乙は乙の費用で修繕する。

オ 機械警備機器の設置、交換、修繕、撤去及び機械警備に代わる人的警備等に係る費用は、乙が負担する。

(2) 侵入、火災、その他の異常事態の感知

警備対象で発生した異常事態信号を乙の警報監視センターへ自動的に送信する。

尚、自動的に送信するための通信用固定回線は、乙の負担とする。

(3) 機械警備異常事態発生時における乙の警備員の派遣、現場確認及び被害拡大防止

乙は、警報監視装置により異常事態信号を受信した時は、乙の警備員を警備対象に派遣し、現場を確認するとともに被害の拡大防止にあたる。

(4) 関係先への通報及び連絡

機械警備業務において、警備対象に到着した乙の警備員は、異常事態を確認後、乙の警報監視センターへその状況を報告するとともに、必要に応じて警察や消防等関係先へ通報する。また、異常事態の詳細を甲が指定した緊急連絡先へ連絡する。

施設警備業務においては、警備対象に常駐する甲職員の指示のもと行動をするとともに、必要に応じて警察や消防等関係先へ通報する。

(5) 機械警備機器や乙の警報監視センター装置の点検、調整及び修理

機械警備機器等の機能について、乙は乙の費用負担にて適宜保守点検を行い、正常作動を確認するとともに、機器の故障等により作動に異常が生じたときは、遅滞なく警備上の安全措置を講ずること。

(6) 警備体制及び勤務時間

ア 施設警備においては、開館日の午前8時30分から午後5時30分までとする。

イ 施設の警備を遂行するために警備上必要な権限は甲が乙に付与し、警備に関する運営及

び指揮の権限は乙が有するものとする。

(7) 緊急連絡先の指定

ア 甲は、あらかじめ緊急連絡先を指定し、その連絡先を乙に通知する。

イ 前項アの緊急連絡先に変更がある場合、甲は、その都度遅滞なく変更したその連絡先を乙に通知する。

2 機械警備機器のシステム概要

(1) 侵入警報

機械警備機器の設置位置は（入札参加者に示す）図のとおりとし、システムの要件は次のとおりとする。

ア 警備セット/解除

次のエリアで警備区域を分割し、それぞれに非接触カード式の警備セット／解除操作器（以下「カードリーダー」と言う。）による警備セット／解除を操作する。

(ア) 個別カードリーダーによる警備セット／解除

- a 1階職員出入口外側
- b 2階サーバー室入口外側

イ 警報装置（なお、監視カメラは別途設置している）

(ア) 開閉センサー

- a 1階職員出入口
- b 2階サーバー室入口

(イ) 空間センサー

- a 1階施設メイン出入口
- b 1階風除室
- c 1階受付
- d 1階館長室
- e 1階研究室
- f 1階荷解室
- g 1階搬入口
- h 1階エレベーター前通路
- i 1階男子トイレ前通路
- j 1階館長・事務室前通路
- k 1階職員玄関通路
- l 2階展示エリア入口付近
- m 2階収蔵庫前
- n 2階サーバー室内
- o 2階階段前通路
- p 2階エレベーター前通路付近
- q 2階男子トイレ前通路付近
- r 3階エレベーター前

(ウ) 画像センサー

- a 1 階事務室内に設置し、警報受信時に乙の監視センターにて画像を確認し、付近に設置してあるスピーカーから音声で威嚇を実施し被害の拡大防止に努める。

(2) 火災警報

ア 東日本大震災・原子力伝承館施設

1 階事務所内の自動火災報知設備の移報端子から警報盤に接続し、24 時間監視する。

(3) その他の警報

ア 停電（5 分以上継続するものに限る）及び警報送信用回線の断線は、24 時間監視する。